

2019 年度秋期キリスト教教育強調週間

2019 年 8 月 6 日
キリスト教委員会

2019 年度秋期キリスト教教育強調週間のプログラムを下記のように計画しました。

講師に北海道三愛畜産センター理事長の西川求先生をお迎えして、三愛精神に基づく酪農の実践と三愛塾を通じた酪農家の学習の場を創ってこられた経験をお話しいたします。西川先生は基督教独立学園高校の修学旅行において、北海道浜中町の開拓農家で体験実習をした経験から、開拓農家になることを志し、酪農学園短期大学（第 9 期生）と酪農学園大学（第 1 期生）で学ばれました。大学卒業後に、三愛精神の本場でもあるデンマークの農場で働き、酪農家となる夢を実現するべく瀬棚町（せたな町）に新規開拓者として入植し、三愛精神による地域の活性化に努め、本学初代学長の樋浦誠（1898-1991）が提唱した三愛塾を開いて、大学に来ることのできない農家の人々のための学びの場を提供してこられました。西川先生は、この間に機農高校・とわの森三愛高校の教諭として酪農学園の教育にも関わってこられていますので、キリスト教と聖書を土台とする三愛精神の本質を最も良く知っておられる先達でもあります。

そこで、今回のキリスト教教育強調週間では、本学のキリスト教主義に基づく建学の精神を名実共に体現してこられた西川先生のお話しを通じて、酪農学園の生命線である「三愛精神」（神を愛し、人を愛し、土を愛する）の枢要さを学生、教職員のみなさんと一緒に再確認したいと願っています。

—————記—————

日時：2019 年 10 月 29 日（火）午前 10 時 40 分～12 時 10 分

場所：黒澤記念講堂

聖書：マタイによる福音書 6 章 25-26 節

主題：「開拓酪農を夢見て——思いわずらうな」

講師：西川 求（にしかわ・もとむ）先生

北海道三愛畜産センター理事長、元とわの森三愛高校教諭、本学 1 期生

【講師紹介】

1939 年 7 月静岡県静岡市に生まれる。1955 年山形県の基督教独立学園高校に入学。1958 年 4 月酪農学園短期大学入学。1962 年酪農学園大学三年に編入学。1964 年から 1965 年デンマーク農場にてエミール・フェンガーさんのもとで働く。1966 年酪農学園機農高校勤務。1968 年 4 月瀬棚町に入植。1995 年酪農経営を息子に譲り離職。1995 年 4 月とわの森三愛高校勤務。2006 年 3 月退職。2009 年 4 月酪農学園大学酪農学部家畜管理行動学ゼミで一年間研修生として学ぶ。現在は北海道三愛畜産センターの理事長として、毎年三愛塾を開催し、実習生の受け入れを行い、またフィリピンのネグロス島の寒村の子どもたちの支援とミンダナオ島の子どもたちの支援を 13 年程続け、フィリピンでも三愛塾を開いている。

以上